

高知県保健福祉フォーラム

■フォーラムの紹介

地域保健福祉活動に携わる者や関心のある者が、日ごろの実践活動や研究活動等で得た成果・体験の発表や、ワークショップをととして相互理解を深め、交流の輪を拡大することにより、高知県の保健福祉サービスの向上につなげることを目的とします。

■年度別開催内容

平成19年度高知県保健福祉フォーラム開催

開催日時:平成20年2月14日(木) 午前10:00~午後4:00

開催場所:高知県立ふくし交流プラザ(高知市朝倉戊) 会場の場所・交通機関について [こちら](#)

案内は[こちらから](#)

H19年度 H20/2/14(木)開催

- [基調講演・講演等内容](#)
- [ワークショップ内容](#)

H18年度 H19/3/9(金)開催

- [基調講演・講演等内容](#)
- [ワークショップ内容](#)

H17年度 H18/3/15(水)開催

- [基調講演・講演等内容](#)
- [ワークショップ内容](#)

■フォーラム

H16年度 H17/3/4(金)開催 [一般演題発表等内容](#) [ワークショップ内容](#)

H15年度 H16/3/12(金)開催 [一般演題発表等内容](#) [ワークショップ内容](#)

高知県保健福祉フォーラム

～はつらつ高知2007 安心・安全・支え合い～
「平成19年度高知県保健福祉フォーラム」の開催について

.....

日ごろの活動や学術的な調査・研究などの発表の場とともに、関係機関の相互交流の輪を広げる場として「高知県保健福祉フォーラム」を開催いたします。

(詳細: [基調講演・講演内容](#)/[ワークショップ内容](#)/[開催要領&プログラム\(PDFファイル\)](#))

一般県民の方は直接会場にお越しください。(事前の参加申込は必要ありません。)

※駐車場はございますが、可能な限り、公共交通機関・乗り合わせでお越しください。

.....

問い合わせ先

〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20

高知県ふくし交流財団 TEL 088-844-9271、FAX 088-844-9443

E-mail: satoshi.miyagawa@fukushi-plaza.jp

担当: 宮川

H19年度

高知県保健福祉フォーラム

開催日	平成20年2月14日(木)
会場	高知県立ふくし交流プラザ(一般演題発表、基調講演、ワークショップ) 高知市朝倉戊375-1 TEL 088-844-9271
主催	高知県、財団法人高知県ふくし交流財団
企画運営	平成19年高知県保健福祉フォーラム実行委員会
後援	高知縣市町村社会福祉協議会連絡会、高知縣市町村保健衛生職員協議会 高知県国民健康保険団体連合会、(社福)高知県社会福祉協議会 (財)高知県老人クラブ連合会、高知県民生委員児童委員協議会連合会 高知県食生活改善推進協議会、高知県健康づくり婦人会連合会 (社)高知県福祉サービス協会、高知新聞社、朝日新聞高知総局 毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送 KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、(株)エフエム高知
基調講演	基調講演「中越沖地震災害の状況と私たちの対応について」 新潟県柏崎市松美町内会 会長 関矢登氏
ワークショップ	1 障害者が働くって?! ~よりよい就労支援を理解するために~ 2 災害とまちづくり ~「防災」からはじまる地域の繋がりを考える~ 3 地域生活のエコシステム理解と関係性について学ぶ —ミクロ・メゾ・エクソ・マクロシステムの特性をもとに— 4 現在の食の安全と健康 5 ところをつなぐ町づくり ~地域での支え合い~ 6 はじめての住宅改修 ~わが家をバリアフリーに~

■受付

9:30-

■開会

10:00-

■一般演題発表 <39題>

10:00-11:30

■基調講演 <中越沖地震災害の状況と私たちの対応について>

12:30-14:00

講師: 関矢登 (新潟県柏崎市松美町内会 会長)

■ワークショップ <6テーマ>

14:00-16:00

ワークショップ内容

14:00～16:00

■テーマ1 障害者が働くって？！

～よりよい就労支援を理解するために～

障害者自立支援法の施行で障害者施策は大きく変わりました。
従来のサービス体系から施設、事業の新体系への移行が進められて、障害者の地域での自立した生活を
実現するために、国も工賃増進計画を掲げ就労支援を強化しようとしています。
高知県ではどのような動きがあるのか、又、よりよい就労支援をするためにはどのようなことが必要か、み
なさんと一緒に考えましょう。

コーディネーター：谷脇 三和 (県障害福祉課 障害者就労支援チーム)

話題提供者：武田 廣一 (さんかく広場 施設長)
武村 利道 (ワークスマイライ高知 代表)

■テーマ2 災害とまちづくり

～「防災」からはじまる地域の繋がりを考える～

基調講演講師関矢氏をアドバイザーに迎え、新潟県柏崎市松美町における災害対応に加えて、事例提供
者の各町内会や自治会、また市町村における自主防災活動や見守りの活動を聞き、日ごろの地域の繋がりが
やネットワークづくりについて考えます。

コーディネーター：田中 佐和子 (県地域づくり支援課 地域支援企画員)

アドバイザー：関矢 登 (新潟県柏崎市松美町内会長)

事例提供者：大野 崇 (安芸市まちづくり課防災安全係長)
市川 千香 (津野町社会福祉協議会 事務局長)
西森 一郎 (高知市薊野西町 町内会長)

■テーマ3 地域生活のエコシステム理解と関係性について学ぶ

～ミクロ・メゾ・エクス・マクロシステムの特性をもとに～

生活のとらえ方も多様化し、生活のなかで何を大切にするかそのこと自体が課題になっています。このワー
クショップでは、人と環境を構成するシステムやその時間的経過・変化を理解するエコシステム理論を紹介し
ます。その上で、個人や家族、そしてその生活の場となる地域、生活習慣、法律やイデオロギーについて、各
システムのサイズやレベルを理解します。そして、地域生活にある「つながり」をみつめます。日々の生活や
業務のなかに活かしていただければ幸いです。

コーディネーター：西内 章 (高知女子大学社会福祉学部 講師)

話題提供者：大木 裕子 (高知女子大学社会福祉学部 学生)
武石 彩乃 (")
谷松 志保 (")
吉村 知彩 (")

■テーマ4 現在の食の安全と健康

「食の安心・安全」の問題が毎日のように新聞を賑わし、その信頼が大きく揺らいでいる今、私たちにもっと
身近な「食べること」の大切さを高知の「食」をとおしてさまざまな活動をしている「特定非営利活動法人ちさん
ねつ」会長の久保さんと一緒に考えます。

①地球環境と食の関係 ②なぜ地産地消が必要か ③戦後の食文化の乱れ
④子供のアレルギー問題 ⑤健康に生きるための生活の仕方 など

講師：久保 光夫 (特定非営利活動法人 ちさんねつ 会長)

■テーマ5 ころをつなぐ町づくり

～地域での支え合い～

地域の中で“生き生き”と暮らせるにはどうすればよいでしょうか？
高齢者支援・障害者支援・子育て支援…はつながっているはず！
地域で支援する、支え合うとはどういうことか？一緒に考えてみませんか？

コーディネーター：山崎 正雄 (高知県精神保健福祉センター所長)

話題提供者：調整 中 (高知市いきいき百歳体操大神宮 サポーター)
" (高知市いきいき百歳体操大神宮 ボランティア)
" ()
安岡 圭子 (田野町なかよし交流館 サポーター)
横山 智之 (田野町なかよし交流館 環境サポーター)
益田 哲也 (")

■テーマ6 はじめての住宅改修

～わが家をバリアフリーに～

改修をしたいけれど…どうすればいいのかわからない。
安心・安全に住むための住宅改修のポイントを、浴槽とトイレを中心に分かりやすくアドバイスします。

コーディネーター：前田 和司 (有限会社 M. テクニカル. CO 社長)

事例提供者：調整 中

平成19年度高知県保健福祉フォーラム開催要領

～はつらつ高知2007 安心・安全・支え合い～

1 目的

地域保健福祉活動に携わる者や関心のある者が、日ごろの実践活動や研究活動等で得た成果・体験の発表や、ワークショップをとおして相互理解を深め、交流の輪を拡大することにより、高知県の保健福祉サービスの向上につなげることを目的とします。

2 主催

高知県、財団法人 高知県ふくし交流財団

3 企画運営

平成19年高知県保健福祉フォーラム実行委員会

4 後援

高知縣市町村社会福祉協議会連絡会、高知縣市町村保健衛生職員協議会、高知県国民健康保険団体連合会、(社福)高知県社会福祉協議会、(財)高知県老人クラブ連合会、高知県民生委員児童委員協議会連合会、高知県食生活改善推進協議会、高知県健康づくり婦人会連合会、(社)高知県福祉サービス協会、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、NHK 高知放送局、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、(株)エフエム高知

5 開催日

平成20年2月14日(木)

6 会場

高知県立ふくし交流プラザ(高知市朝倉戊375-1 電話088-844-9271)

7 参加者

地域保健福祉活動に取り組んでいる方または関心のある方

8 参加費

無 料

9 開催内容

- | | |
|-------------|---|
| 9:30～ | 受 付 |
| 10:00～11:30 | 一般演題発表(39題) |
| 11:30～12:30 | 休 憩 |
| 12:30～14:00 | 基調講演「中越沖地震災害の状況と私たちの対応について」
新潟県柏崎市松美町内会 会 長 関矢 登 氏 |
| 14:00～14:15 | 休 憩 |
| 14:15～16:00 | ワークショップ(6テーマ)
(1) 障害者が働くって?! ～よりよい就労支援を理解するために～
(2) 防災とまちづくり ～「防災」からはじまる地域の繋がりを考える～
(3) 地域生活のエコシステム理解と関係性について学ぶ
～マイクロ・メゾ・エクソ・マクロシステムの特徴をもとに～
(4) 現在の食の安全と健康
(5) ところをつなぐ町づくり ～地域での支え合い～
(6) はじめての住宅改修 ～わが家をバリアフリーに～ |

10 お問い合わせ

実行委員会事務局:高知県ふくし交流財団 担当:宮川

TEL:(088)844-9271 FAX:(088)844-9443

Email:satoshi_miyagawa@fukushi-plaza.jp

平成19年度 高知県保健福祉フォーラム

～はつらつ高知2007 安心・安全・支え合い～

と き：平成20年2月14日（木） 場 所：高知県立ふくし交流プラザ

会 次 第

10:00～11:30 一 般 演 題 発 表

- 第1分科会《生活科学》（4題）
- 第2分科会《健康科学》（6題）
- 第3分科会《老成人》（7題）
- 第4分科会《母子児童》（7題）
- 第5分科会《障害関係等》（7題）
- 第6分科会《地域づくり・地域福祉等》（4題）
- 第7分科会《地域づくり・地域福祉等》（4題）

11:30～12:30 昼 食 休 憩

12:30～14:00 基 調 講 演

「中越沖地震災害の状況と私たちの対応について」

講師：新潟県柏崎市松美町内会 会長 関矢 登

14:15～16:00 ワークショップ

- テーマ1：障害者が働くって?! ～よりよい就労支援を理解するために～
- テーマ2：防災とまちづくり ～「防災」からはじまる地域のつながりを考える～
- テーマ3：地域生活のエコシステム理解と関係性について学ぶ
～ミクロ・メゾ・エクソ・マクロシステムの特性とともに～
- テーマ4：現在の食の安全と健康
- テーマ5：こころをつなぐ町づくり ～地域での支え合い～
- テーマ6：はじめての住宅改修 ～わが家をバリアフリーに～

16:00 終 了

作業所によるケーキ、クッキー、飲み物等の販売もあります。（2階ロビー）

会場案内



ワークショップ(全6テーマ)

テーマ1：障害者が働くって？！

～よりよい就労支援を理解するために～

障害者自立支援法の施行で障害者施策は大きく変わりました。
従来のサービス体系から施設、事業の新体系への移行が進められて、障害者の地域での自立した生活を実現するために、国も工賃倍増計画を掲げ就労支援を強化しようとしています。
高知県ではどのような動きがあるのか、又、よりよい就労支援をするためにはどのようなことが必要か、みなさんと一緒に考えましょう。

コーディネーター：谷脇 三和 (県障害福祉課 障害者就労支援チーム)
話題提供者：武田 廣一 (さんかく広場 施設長)
話題提供者：竹村 利道 (ワークスみらい高知 代表)

テーマ2：防災とまちづくり

～「防災」からはじまる地域の繋がりを考える～

基調講演講師関矢登氏をアドバイザーに迎え、新潟県柏崎市松美町における災害対応に加え、事例提供者の各町内会や自治会、また市町村における自主防災活動や見守りの活動を聞き、日ごろの地域の繋がりにネットワークづくりについて考えます。

コーディネーター：田中 佐和子 (県地域づくり支援課 地域支援企画員)
アドバイザー：関矢 登 (新潟県柏崎市松美町 町内会長)
事例提供者：大野 崇 (安芸市まちづくり課防災安全係長)
事例提供者：市川 千香 (津野町社会福祉協議会 事務局長)
事例提供者：西森 一郎 (高知市薊野西町 町内会長)

テーマ3：地域生活のエコシステム理解と関係性について学ぶ

ーミクロ・メゾ・エクソ・マクロシステムの特徴をもとにー

生活のとらえ方も多様化し、生活のなかで何を大切にするかそのこと自体が課題になっていきます。このワークショップでは、人と環境を構成するシステムやその時間的経過・変化を理解するエコシステム理論を紹介します。その上で、個人や家族、そしてその生活の場となる地域、生活習慣、法律やイデオロギーについて、各システムのサイズやレベルを理解します。そして、地域生活にある「つながり」を見つけます。日々の生活や業務のなかに活かしていただければ幸いです。

コーディネーター：西内 章 (高知女子大学社会福祉学部 講師)
話題提供者：大木 裕子 (高知女子大学社会福祉学部 学生)
話題提供者：武石 彩乃 (")
話題提供者：谷松 志穂 (")
話題提供者：吉村 知彩 (")

テーマ4：現在の食の安全と健康

「食の安心・安全」の問題が毎日のように新聞を賑わし、その信頼が大きく揺らいでいる今、私たちにもっとも身近な「食べること」の大切さを高知の「食」とおしてさまざまな活動をしている「特定非営利活動法人ちさんねっと」会長の大久保さんと一緒に考えます。

- ①地球環境と食の関係 ②なぜ地産地消が必要か ③戦後の食文化の乱れ
- ④子どものアレルギー問題 ⑤健康に生きるための生活の仕方 など

講師：大久保 光夫（特定非営利活動法人 ちさんねっと 会長）

テーマ5：こころをつなぐ町づくり ～地域での支え合い～

地域の中で“生き生き”と暮らせるにはどうすればよいでしょうか？
高齢者支援・障害者支援・子育て支援・・・はつながっているはず！
地域で支援する、支え合うとはどういうことか？一緒に考えてみませんか？

コーディネーター：山崎 正雄 （高知県精神保健福祉センター所長）
話題提供者：調整中 （高知市いきいき百歳体操大神宮サポーター）
" （高知市いきいき百歳体操大神宮ボランティア）
" （ " ）
安岡 圭子 （田野町なかよし交流館サポーター）
横山 智之 （田野町なかよし交流館環境サポーター）
益田 哲也 （ " ）

テーマ6：はじめての住宅改修 ～わが家をバリアフリーに～

改修をしたいけれど・・・どうすればいいのかわからない。
安心・安全に住むための住宅改修のポイントを、浴槽とトイレを中心に分かりやすくアドバイスします。

コーディネーター：前田 和司 （有限会社 M. テクニカル. CO 社長）
事例提供者：調整中

H18年度

高知県保健福祉フォーラム

開催日	平成19年3月9日(金)
会場	高知県立ふくし交流プラザ(一般演題発表、基調講演、ワークショップ) 高知市朝倉戊375-1 TEL 088-844-9271
主催	高知県、財団法人高知県ふくし交流財団
企画運営	平成18年高知県保健福祉フォーラム実行委員会
後援	高知縣市町村社会福祉協議会連絡会、高知縣市町村保健衛生職員協議会 高知県国民健康保険団体連合会、(社福)高知県社会福祉協議会 (財)高知県老人クラブ連合会、高知県民生委員児童委員協議会連合会 高知県食生活改善推進協議会、高知県健康づくり婦人会連合会 (社)高知県福祉サービス協会、高知新聞社、朝日新聞高知総局 毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送 KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、(株)エフエム高知
基調講演	基調講演「自立と共生のまちづくり —東松山市の取組みから—」 ひがしまつやま市総合福祉エリア 施設長 曾根直樹 氏
ワークショップ	1 障害者自立支援法が施行されて ～かわったこと・かえざるをえなかったこと・かえたらいけないこと～ 2 運動をとおした健康づくり・地域づくり 3 新聞記事から「地域」を図に！！—さあ、みんなで考えよう— 4 飽食の危機をブツ飛ばす！！あたりまえのことに思いを込めて 5 特定健診等実施計画策定に向けて ～チョット、チョットチョット！計画づくりをチャンスにかえよう～ 6 住宅改修のここが知りたい！ ～高齢者・障害者の身体特性に応じた住宅改修～

■受付 9:30-
■開会 10:00-
■一般演題発表 <25題> 10:00-11:30
■基調講演 <自立と共生のまちづくり —東松山市の取組みから—> 12:30-14:00 講師：曾根 直樹 (ひがしまつやま市総合福祉エリア 施設長)
■ワークショップ <6テーマ> 14:00-16:00

H18年度

高知県保健福祉フォーラム

ワークショップ内容

14:00～16:00

■テーマ1 障害者自立支援法が施行されて

～かわったこと、かわらざるおえなかったこと、かえたらいけないこと～

障害者自立支援法が施行されました。
さまざまな問題点がでてきた今、障害を持つ方々を支援している立場として、この法律の枠組みの中で、どのようなかわりを持つのかをディスカッションをとおして探ります。

コーディネーター：住友 芳美 (地域活動支援センターあけぼの 施設長)
話題提供者：上甲 由佳 (棧橋みどりクリニック)
野村 清司 (身体障害者療護施設オイコニア 副施設長)
1名交渉中

■テーマ2 新聞記事から「地域」を図に！！

～さあ、みんなで考えよう～

新聞記事の活動内容とそのキーワードを抜き出し、絵と図を作成し、その作業から「地域を支える活動」について、参加者とともに話し合います。

コーディネーター：西内 章 (高知女子大学社会福祉学部 講師)
参加者：武内 尚子 (高知女子大学 学生)
田中 志奈 (")
日高かおり (")
福本 圭 (")
宮藤 幸枝 (")

■テーマ3 運動をととした健康づくり・地域づくり

総合型地域スポーツクラブをご存知ですか？
総合型地域スポーツクラブは、文部科学省のスポーツ振興施策の一環として、現在、全国展開されています。地域住民が主体的に運営するスポーツクラブとして地域の活性化、コミュニティづくりをめざしています。このワークショップでは、総合型地域スポーツクラブの活動を知っていただき、健康づくり・地域づくりをめざしている保健分野などとの連携の可能性を一緒に考えてみたいと思います。

コーディネーター：清原 泰治 (高知女子大学文学部 助教授)
話題提供者：川島 祥嗣 (県教育委員会体育スポーツ課生涯スポーツ班長)
田井 直子 (NPO法人総合クラブとさ 理事)
松本 雅子 (安芸市健康福祉事務所 保健師)
若藤 美紀 (仁淀川町教育委員会生涯学習係長)

■テーマ4 飽食の危機をブツ飛ばす

～あたりまえのことに思いを込めて～

飽食から崩食へ、日本の食卓は今まさに危機的状況を迎えています。
そんな中でも、丁寧な心を込めて人、食、農にかかわっている事例をとおして「食べることは生きること」を考えてみませんか。

コーディネーター：津野 美保 (中央東福祉保健所健康課長)
事例提供者：○「辰巳芳子さんの『いのちのスープ』近森病院の取り組み
1. 司会挨拶(吉田栄養科主任)
2. DVD鑑賞:NHKほっとモーニングより
3. いのちのスープの取り組みの紹介(小谷主任)
4. 試食会 にんじんのスープ・煎り玄米のスープ・乾しいたけのスープ
5. スープを味わいながら実践者の苦労話と質疑応答
高知パレスホテル(吉村社長・田中シェフ)
エムサービス(金今事業部長・中島支配人・楠料理長)
○「食農教育を通して子どもたちに食の自立を・・・」
南国市立後免野田小学校 栄養教諭 石川 利恵
○「手軽にハーブクッキング 普段料理をハーブでリフレッシュ」
アットイーズ まるふく農園
ハーブ料理教室主宰 楠瀬 朝子

■テーマ5 特定健診等実施計画策定に向けて

～チョット、チョットチョット！計画づくりをチャンスにかえよう～

平成20年度からの特定健診・特定保健指導の実施にむけて、各保険者(市町村)は、平成19年度に特定健診等の実施計画策定をしていかなければなりません。

現在、計画策定に向けて、各市町村で取り組みが始まってきています。しかし、皆さんご存知のとおり、様々な問題や課題がでてきています。

今回、平成19年度の計画策定に向けて考え方や課題を整理し、なんのために(目的)、今何をやらなければならぬのかを確認し、計画づくりがチャンスになれるように、また私たちが生き生きと楽しく地域づくりや健康づくりに取り組めるように、みんなで話し合いたいと思います。

コーディネーター : 田上 豊資 (中央東福祉保健所 所長)

司会進行 : 秋田美智子 (国保連合会 保健師)

■テーマ6 住宅改修のここが知りたい！

～高齢者や障害者の身体特性に応じた住宅改修～

自分の家だからこそ、安全に安心して暮らしたい。

高齢者や障害者の身体特性に応じた住宅改修のポイントや、住宅改修の具体的なプランについて、住宅改修の専門家が分かりやすくアドバイスします。

コーディネーター : 前田 和司 (有限会社 M. テクニカル. CO 社長)




事例提供者 : 弘内 喜代志 (株式会社 光テック 社長)

H17年度

高知県保健福祉フォーラム

開催日	平成18年3月15日(水)
会場	高知県立ふくし交流プラザ(基調講演、講演、ワークショップ) 高知市朝倉戊375-1 TEL 088-844-9234 第1会場 : 2F多目的ホール 第2~4会場 : 5研修室A~C 第5会場 : 3F調理実習室、5F多目的和室
主催	高知県
企画運営	高知県保健福祉フォーラム実行委員会
後援	高知縣市町村社会福祉協議会連絡会 高知縣市町村保健衛生職員協議会 高知県国民健康保険団体連合会
基調講演	「住民主体の支えあいのまちづくり」 講師: 田中 きよむ (高知大学人文学部教授)
講演	「まちづくりと保健活動」 講師: 吉永 智子 (高知市保健所健康づくり課副参事)

[第1会場: 2F多目的ホール]

 開会 10:00-
 基調講演 <住民主体の支えあいのまちづくり> 10:10-11:30 講師: 田中 きよむ (高知大学人文学部教授)
 講演 <まちづくりと保健活動> 11:40-12:30 講師: 吉永 智子 (高知市保健所健康づくり課副参事)

ワークショップ内容

13:30～16:00

■第1分科会 環境への思いと地域おこし

～環境活動支援センターえこらぼ開設イベント～

〔第1会場：2F多目的ホール〕

地域を応援して支えていくために、環境への熱意を持った各分野の専門家を活かした地域おこしの事例の
 として、各地域の具体的な環境活動や地域づくりのヒントをさぐる。

コーディネーター：兼松 方彦（NPO法人地域交流センター・四国代表）

事例提供：山下 一穂（有機のがっこう「土佐自然塾」塾長）
 谷地森 秀二（NPO法人四国自然科学史研究センターセンター長）
 松崎 了三（地域プランナー・馬路村ゆず販売戦略仕掛け人）

■第2分科会 子育てしやすいまちづくり

〔第2会場：5F研修室A〕

子育ては両親だけ？家庭や学校だけ？
 近所の方や地域の方達との交流がうまく出来ずに孤立している方や、初めての子育てで不安一杯のお母
 さん達は周りにませんか？
 子どもを中心にその周りについているみんなで子育てを考えたい。そんな中で地域の中で私たちができることは
 何だろう？参加者みんなで語り合いませんか？

コーディネーター：小松 洋文（高幡保健所 保健監）
 廣末 ゆか（田野町 保健福祉課）

事例提供：西岡 登志（育児サークル マム&チルドレン代表）
 小松 幸恵（高須地区民生委員児童委員）
 公文 加枝（田野町上地地区なかよしサロン）
 辻村 千加（田野町 ココナッツママ／なかよし交流館サポーター）

■第3分科会 みんなで「まちづくり」談義

～防災と福祉のまちづくりを高知市北高見町を舞台に考える～

〔第2会場：5F研修室B〕

高知市北高見町では、土佐道路の筆山トンネル開通と道路の延伸によって、町の様相が一変しました。そ
 のため、かつてあったコミュニティが道路により分断されるなど、これまでの町のあり様から大きく変化して
 います。
 また、北高見町は、浦戸湾に面した潮江地区に属し、南海地震による津波対策も急務の課題です。
 現在、この地域ではNPOと住民によるまちづくりのワークショップを行っています。その取組みの様子から
 様々なことを学ぼうと思います。また、参加者から北高見町の方々への示唆、助言も期待して進めていきま
 す。

コーディネーター：田中 きよむ（高知大学人文学部教授）

事例提供：尾崎 香（北高見町内会長）
 福島 高明（NPO法人まちづくり支援センター：一級建築士）
 田上 圭一（NPO法人まちづくり支援センター：一級建築士）
 下元 佳子（生き生きサポートセンターうえるば高知）
 調整 中（北高見町住民）
 調整 中（北高見町住民）

■第4分科会 地域の様子が見えていますか？

今、行政がすべきことって何？

～地域支援企画員と地域を語ろう！～

〔第2会場：5F研修室C〕

地域は、人と人のつながりです。私たち行政職員の日ごろの住民との関わりあいもまちづくりへの一歩であ
 ると思います。まちづくりや支え合いの仕組みが必要だとされている昨今ですが、住民同士のつながりや
 支え合いの意識は本当に薄れてきているのでしょうか？

地域支援企画員は人と人のつながりを大切に、地域の元気づくりや支え合いの取り組みを応援するため
 に、地域に入って住民とともに考え活動しています。地域住民の思いや暮らしの実態はいかに・・・また、私
 たちはどのような役割をどこまで果たしていけばよいのでしょうか？

このワークショップでは、地域支援企画員からみた地域の現状や、その現状を踏まえたように活動してい
 るのかについてお話を聞きながら、みんなで自分にできるまちづくりについて考えてみたいと思います。

事例提供：窪田 純子（地域支援企画員）
 河瀬 雅恵（地域支援企画員）
 橋本 立（地域支援企画員）

進行役：中城 由美（中央東福祉保健所）
 矢部 美根子（中央西福祉保健所）
 松岡 智加（保健福祉課）

■第5分科会 「あたしらあに まかいちよいて！
新鮮・安全たまご」

〔第2会場：5F多目的和室〕

.....

消費者の消費者による消費者のための新鮮・安全でおいしく食べるたまごをめざし、消費者自ら企画から運営までを検討する。消費者自らたまごを焼きながら生産者・流通販売業者・行政が同じテーブルを囲み、おいしく楽しいたまご談義に花を咲かせ「たまごまちづくりネットワーク」を作りたい。

14:00～：多目的和室（5階）

消費者団体 : 高知生協協同組合、絆消費者グループ、「みんなの未来」高知
高知友の会、市民相談センター、高知市食生活改善推進協議会

生産者 : エッグメール、日高農場

販売者 : サニーマート、こうち生協、サンブラザ

行政 : 食品衛生指導員、高知市保健所、福祉保健所、畜産課
食品・衛生課、衛生研究所

.....

H16年度

高知県保健福祉フォーラム

開催日	平成17年3月4日(金)
会場	高知城ホール(基調講演、一般演題発表、ワークショップ) 高知市丸の内2-1-10 TEL 088-822-2035 第1会場:4Fホール、第2・3会場 :2F会議室
主催	高知県
企画運営	高知県保健福祉フォーラム実行委員会
後援	高知縣市町村社会福祉協議会連絡会 高知縣市町村保健衛生職員協議会 高知県国民健康保険団体連合会
基調講演	「それぞれの人生 ～障がい者の自立援助のネットワーク～」 講師:林 剛 (ふくろう共働作業所)

一般演題発表内容

[第1会場:高知城ホール4F多目的ホール]

■第1分科会《 地域リハ・介護予防 》

10:00-10:45

座長: 石川 善紀 (高知県中央東保健所長)

-
- | | |
|---|--------------------|
| P1-01. 高幡圏地域リハビリテーション広域支援センターの活動
-地域リハビリテーション懇談会の経過- | 谷 聡子 高幡保健所 |
| P1-02. 中央東地域リハビリテーション広域支援センターにおける研修会の
取り組みについて | 田川 浩寿 中央東保健所 |
| P1-03. 「いきいき百歳応援講座」1年後の追跡調査の結果と地域展開につ
いて | 田部 佳枝 高知市保健所健康づくり課 |
| P1-04. 地域のネットワークづくりをめざした活動
～いの町の住まいづくりから～ | 武内 紀子 中央西保健所 |
-

10:45-11:30

座長: 鈴木 順一郎 (高知県東部保健所長)

-
- | | |
|--|----------------|
| P1-05. 土佐市における認知症予防への取り組み | 片岡 由紀 土佐市健康福祉課 |
| P1-06. 十和村における介護予防事業の展開～認知症予防教室(のうがえ
い教室)の取り組み～ | 小島 博子 十和村健康福祉課 |
| 池川町介護予防事業への取り組み～保健所の支援～ | 森 克仁 中央西保健所 |
| P1-07. | |
| P1-08. 介護予防教室の評価に関する考察 | 久武 昌樹 中央西保健所 |
| P1-09. 介護サービスにおけるリスクマネジメント～介護事故報告書・介護事
故検討会議録～ | 高平 百合 高知市介護保険課 |

■第2分科会 《 健康づくり 》

10:00-10:45

座長: 豊田 誠 (高知県幡多保健所長)

-
- | | |
|---------------------------------------|----------------|
| P2-01. 若い女性の生活習慣と血漿ホモシステイン、ビタミンE濃度の検討 | 森山 ゆり 高知県衛生研究所 |
|---------------------------------------|----------------|

- P2-02. 高知県下におけるウェストナイル熱対策の蚊の分布調査について 戸梶 彰彦 高知県衛生研究所
ある老人福祉施設におけるインフルエンザワクチン接種と予防効果一 千屋 誠造 高知県衛生研究所
P2-03. 第2報一
P2-04. 住民や市町村と共に取り組んだ日本紅斑熱の啓発対策について 東部保健所
横井 秀隆
P2-05. 健診21システムについて 杉本 章二 幡多保健所

10:45-11:30

座長：片岡 隆策（高知県中央西保健所長）

- P2-06. 春野町とともに考える防煙の取り組み 片岡 千香 中央西保健所
P2-07. 土佐打刃物従事者の健康調査 北村 優子 中央東保健所
P2-08. 東部地区食生活改善推進協議会と取り組む低栄養予防活動 山下 亜紀 市町村栄養士研修会
グループ(田野町)
P2-09. 目的志向型成果重視の保健活動を目指して～保健事業におけるロジックモデルの活用～ 山本 ゆか 高知市保健所健康づくり課
P2-10. 幡多保健所及び大月町協働実践研修事業における「健康大月21計画書」策定について 森下 理恵 大月町保険介護課

第3分科会《 感染症・環境 》

10:00-10:45

座長：依光 邦憲（高知県衛生研究所）

- P3-01. 水道水源の農薬検出状況 金田 妙子 高知県衛生研究所
P3-02. クリプトスポリジウムの実態調査ー河川水 西岡 靖二 高知県衛生研究所
P3-03. 牛胆汁中におけるカンピロバクター汚染について 松本 紀子 高知県衛生研究所
P3-04. Salmonella Enteritidisにおけるパルスフィールドゲル電気泳動像とファージタイプとの関連性について 谷脇 妙 高知県衛生研究所
P3-05. TaqMapプローブ法によるオウム病病原体検出プローブの試作と高知県内の野鳥、飼育鳥類における保育調査報告 永安 聖二 高知県衛生研究所
P3-06. 学校の教室でのVOCsの測定事例 津野 正彦 高知県衛生研究所

第4分科会《 母子保健 》

10:45-11:30

座長：藤村 隆（高知市保健所）

- P4-01. 両親ともに精神障害をもつ家庭への育児支援 中石 良子 高知市保健所健康づくり課
P4-02. 子どもの虐待予防アセスメント指標について 宗崎 由香 幡多保健所
P4-03. 高幡保健所管内における歯科保健の現状と取り組み 吉川 緑 高幡保健所
P4-04. 未成年者を対象としたアルコール保健教育の取り組み 楠瀬 葉子 中央東保健所

ワークショップ内容

13:40～15:00

■テーマ(1)高齢者対策の大改革を目前にして [第1会場:高知城ホール4F多目的ホール]

介護保険制度の見直しにより、平成18年度から新しい介護予防活動体制がスタートし、保健と福祉、また官と民はますます一体化した活動が求められるようになります。各市町村のこれまでの活動や今年の準備のありようが今後を大きく左右しそうです。現実が改革の目指すところと大きく距離のある中、平成18年度への取り組みに生かせるよう、関係者みんなが課題やこれからを話し合ひましょう。このフォーラムでは、日頃の活動で悩んでいることや突き当たっていることについて、共に語り合うことで、次へのステップの糸口を見出すことができればと思っています。

コーディネーター : 宮本 寛 (在宅総合ケアセンター近森センター長)

事例提供 : 谷脇 康子 (土佐町)
林 敬裕 (十和村)
山首 尚子 (土佐町社会福祉協議会)

■テーマ(2)“地域で子育て・・・”を再考する [第2会場:高知城ホール2F会議室くすのき1]

“子育て支援”について幅広くうたわれていますが、“子育て支援”とは何?“ネットワーク”とは何?ということから議論し、1.住民でできること、2.行政でできること、3.関係機関でできること、4.共にできること・やらなければならないことなど、各立場から“地域で子育て”をすることの方向性を見出す機会としましょう。

コーディネーター : 小松 洋文 (高幡保健所所長)
廣末 ゆか (田野町保健福祉課)

事例提供 : 阿部 孝子 (中央東保健所)
下元 淑 (須崎市健康福祉課)
大野 和代 (子育て中の母親)
竹崎 恵理子 (子育て中の母親)

■テーマ(3)暮らしを支えるネットワーク [第3会場:高知城ホール2F会議室くすのき2]

なぜネットワークが必要なのか、そもそも何をもってネットワークというのか、などネットワークについての疑問に、県内でネットワークとおぼしき取り組みを行っている事例を見ていくことで、ネットワークの概観、イメージを捉えつつ、「住民の参画」「暮らしを支える」という観点からネットワークを考えてみましょう。

コーディネーター : 田中 きよむ (高知大学人文学部教授)

事例提供 : 杉本 柳三 (中村市社会福祉協議会古津賀第一団地地区社協)
井上 和江 (佐川町こども支援ネットワーク)
安岡 恵実 (田野町社会福祉協議会)

■テーマ(4)ネットワークがなぜうまくいかないのか?
～障害者施策から見て～

[第2会場:高知城ホール2F会議室せんだん]

気づかないうちに、いつの間にか行政主導、専門家主導の活動や、要望だけに対応するサービスになってしまっているのが現状です。地域の人々も含めて障害者の「自立」を考え合う場づくりや、共に生きること、共に生活するための、支援ができるサービス、制度、マンパワーの資質向上など本音で検討する場がほとんどありません。生活支援をきちんとする、その関わりからネットワークや組織化を図るプロセスで学んだことを啓発する、施策化する、などの視点や住民や障害者当事者の参画した地域づくり支援について議論ができればと思います。

コーディネーター：山崎 正雄（精神保健福祉センター所長）

事例提供：（交渉中）

■テーマ(5)環境活動のネットワークづくり

〔第5会場：高知城ホール2F会議室せんだん1〕

環境保全活動を進めていくうえでのネットワークづくりと課題について、物部川流域のネットワークによる市民団体の活動事例から見えてくる課題を検討することで、市民・行政の役割を考えなおすきっかけとし、今後の活動に役立てられるよう話し合います。

コーディネーター：兼松 方彦（物部川21世紀の森と水の会運営委員、
地域交流センター・四国代表）
植野 寛（情報交流館「知恵袋の会」事務局長、
山田堰井筋土地改良区事務局長）

事例提供：兼松 方彦（同上）
植野 寛（同上）

■テーマ(6)わいわい がやがや タマゴ談義

〔第6会場：高知城ホール2F会議室せんだん2〕

生産者から流通・販売を通じて、卵が家庭の食卓にのぼるまでの安心・安全なタマゴについて、生産者や販売業者、消費者の皆さんといっしょに考えてみませんか。消費者の日頃の悩み、お互いのニーズ、家庭での取扱などについて“わいわい”“がやがや”と談義しながら、賢い消費者を目指した「タマゴの安心・安全ネットワークづくり」に向け、ざっくばらんに語り合います。

コーディネーター：福永 和俊（中央東保健所）

事例提供：発表形式ではなく参加者同士の語り合いを中心に行います。

15:00～16:00

■全体会（ワークショップまとめ）

〔第1会場：高知城ホール4F多目的ホール〕

進行：小松 洋文（高幡保健所長）
吉永 智子（高知市保健所）

助言者：林 剛（ふくろう共働作業所）

高知県保健福祉フォーラム

開催日	平成16年3月12日(金)
会場	高知城ホール(基調講演、一般演題発表、ワークショップ) 高知市丸の内2-1-10 TEL 088-822-2035 第1会場:4Fホール、第2・3会場 :2F会議室 高知県保健衛生総合庁舎(一般演題発表) 高知市丸の内2-4-1 TEL 088-821-4960(衛生研究所) 第4・5会場:5F東・西大会議室
主催	高知県
後援	高知縣市町村社会福祉協議会連絡会 高知縣市町村保健衛生職員協議会 高知県国民健康保険団体連合会
基調講演	「保健と福祉の連携」～健康づくりはすてきな出会い～ 講師:社会福祉法人中野区社会福祉協議会 コミュニティ・ワーカー 佐谷けい子



第1会場の様子



第1会場の様子



第2会場の様子

一般演題発表内容

■第1分科会《 介護予防 》

〔第1会場:高知城ホール4F多目的ホール〕

座長:鈴木 順一郎 (高知県東部保健所長)

- | | | |
|---|--------|----------|
| C1-01. 高齢者健診検討事業のとりくみ(経過報告その2)
～保健所の市町村支援について～ | 森田 陽子 | 中央東保健所 |
| C1-02. いきいき百歳体操の地域展開について | 長谷川 雅人 | 高知市保健所 |
| C1-03. 中央西保健所における地域リハビリテーションの取り組み | 中島 あゆみ | 中央西保健所 |
| C1-04. 地域リハビリテーション広域支援センターにおける介護予防の推進
～介護予防推進支援ワーキングの活動～ | 谷 聡子 | 高幡保健所 |
| C1-05. 高齢者健診を活用した介護予防への取り組み | 今井 淳 | 高知県保健福祉課 |

■第2分科会 《 健康づくり 》

〔第2会場:高知城ホール2F会議室せんだん〕

座長:藤村 隆 (高知市保健所)

- | | | |
|--|-------|---------------|
| C2-01. 「自分らしく暮らす糖尿病を考える会」とともに | 山下 亜紀 | 田野町保健福祉課 |
| C2-02. 檮原町における高齢者の健康づくりの取り組み～主観的健康観
向上のための介入～ | 久岡 俊彦 | 檮原町保健福祉支援センター |
| C2-03. 大月町げんき運動教室を実施して | 小野 文子 | 大月町保健介護課 |
| C2-04. 高知市における喫煙対策事業の取り組み | 大中 智美 | 高知市保健所 |

[C2-05.](#) 生活習慣病の危険因子であるホモシステインと食生活習慣改善 意識との関連 森山 ゆり 衛生研究所

[C2-06.](#) 高知市の母子保健体系づくりへの取り組み 地引 里絵 高知市保健所

■第3分科会《 母子保健 》

〔第2会場:高知城ホール2F会議室くすのき〕

座長: 豊田 誠 (高知県幡多保健所長)

[C3-01.](#) 須崎市の子育て支援の現状
～母乳相談からみえるもの～ 西本美公子 須崎市保健福祉課

[C3-02.](#) 中～高生 タバコ調査より 高橋 環 中央東保健所

[C3-03.](#) 中学生へのアルコール保健教育の取り組み～
3年間のアンケート結果からみえてきたもの～ 中岡 朋子 高幡保健所

[C3-04.](#) 生活習慣病予防のための出張愛育 西岡 亜紀 奈半利町役場

[C3-05.](#) 歯から始まる心と身体の健康づくり～保育現場との連携の試み～ 有澤 文里 東部保健所

[C3-06.](#) 中土佐町におけるフッ化物応用(フッ素洗口法) 宮地 亜希 中土佐町福祉保健課

[C3-07.](#) 妊娠届けアンケートによるハイリスク妊婦への関わり 国本 美和 中村市保健介護課

■第4分科会《 障害者施策 》

〔第4会場:保健衛生総合庁舎5F西大会議室〕

座長: 片岡 隆策 (高知県中央西保健所長)

[C4-01.](#) QOL向上に向けた難病患者支援活動について 吉松 恵 幡多保健所

[C4-02.](#) 生活応援(難病)ボランティア養成と今後の方向性
～アンケート調査結果から～ 豊永 保子 中央東保健所

[C4-03.](#) 知的障害者通勤寮施設の健康づくり支援事業について 中越 孝子 幡多保健所

[C4-04.](#) 広域町村に対する市町村支援の取り組み精神障害者デイケア事業への
経年的な支援活動を振り返って 窪田 純子 中央東保健所

[C4-05.](#) 障害児サポートから見えてきたもの 国藤 美紀子 安芸市福祉事務所

[C4-06.](#) 高知県における特発性血小板減少性紫斑病の動向 中島 信恵 高知県健康対策課

■第5分科会《 感染症・環境 》

〔第5会場:保健衛生総合庁舎5F東大会議室〕

座長: 大野 賢次 (高知県衛生研究所技術次長)

[C5-01.](#) 結核業務支援システムを活用した結核対策 高平 百合 高知市保健所

[C5-02.](#) 予防接種が効果的に受けられる環境づくりに関する検討 小松 利江 中央東保健所

[C5-03.](#) ある老人福祉施設におけるインフルエンザワクチン接種と予防効果 千屋 誠造 衛生研究所

[C5-04.](#) シックスクール症候群の事例について 津野 正彦 衛生研究所

[C5-05.](#) 高知県下の貝毒発生とその要因についての考察 石井 隆夫 衛生研究所

[C5-06.](#) 幡多地域でのDOTSの試み 山本 富貴 幡多保健所

高知県保健福祉フォーラム

ワークショップ内容

■テーマ(1)介護予防の検証

〔第1会場：高知城ホール4F多目的ホール〕

地域保健、地域福祉は住民の見守りや、閉じこもりの早期発見等を住民とつくれる活動です。住民が参画する介護予防の活動づくりが今、問われています。また、最近、各地域で高齢者の「体力」に焦点を当てた活動が生まれてきました。これまでには珍しい評価を数値化できる活動です。「ストップザ介護保険」と言える地域保健や地域福祉の介護予防活動の現状とこれからについて、議論しましょう。

コーディネーター：堀川 俊一（高知市健康福祉部参事）
山首 尚子（土佐町社会福祉協議会）

W1-01.	香我美町での高齢者健診検討事業の取り組み	島村 千春	香我美町
W1-02.	高知市の介護予防推進の取り組み	川上 美由紀	高知市健康福祉総務課
W1-03.	住民力と介護予防	市川 千香	葉山村社会福祉協議会
W1-04.	田野町における取り組み	包國 左恵子	田野町

■テーマ(2)考えよう！これからの子育て支援

〔第3会場：高知城ホール2F会議室くすのき〕

これまでは、保健活動はともすれば身体発達に照準を当てた活動になっていました。今、乳児から思春期まで、子育ては家庭だけでできなくなっています。母子関係、人との関わりなど心の問題が社会的課題になってきています。行政に働く私たちには健診や相談だけでなく、地域の、また関係者の子育て支援ネットワークづくりが求められています、疾病や障害予防だけでなく、子育てにどう関われるか？を考えましょう。

コーディネーター：小松 洋文（高幡保健所所長）
廣末 ゆか（田野町保健福祉課）

W2-01.	子どもの虐待予防活動 ～幡多保健所の取り組み～	菊池 美恵	幡多保健所
W2-02.	母子保健計画のこれから ～学校との連携を目指して～	杉原 里恵	土佐山田町
W2-03.	子どもの居場所づくりを	村田 隆	高知市立潮江小学校
W2-04.	窪川カンガルー広場の活動を通して	敷地 博子	窪川町カンガルー広場

■テーマ(3)みんなで考えよう食の安全

〔第5会場：保健衛生総合庁舎5F東大会議室〕

『食中毒をなくしましょう』『自主管理体制の確立を』と唱えるだけでは食中毒は減りません。近年、サルモネラによる食中毒は細菌性食中毒患者の約30～40%を占めています。なかでも、卵とその加工品を原因食とする、「サルモネラ・エンテリテイディス菌」による食中毒は全体の50～60%を占めております。卵が私たちの食卓に並ぶまでの経路に潜む問題点を考え、生産・流通・販売・消費者のそれぞれの立場で、誰が、何のために、何を、どうすればいいのか……一緒に考えてみましょう。

コーディネーター：上岡 英和（衛生研究所所長）
福永 和俊（中央西保健所食品保健課長）

W3.

問題提起	小松 照子	高知県衛生研究所
保健所の立場から	矢野 祐一	高幡保健所
流業者の立場から	林 一猪	サニーマート
消費者の立場から	内田 幸憲	高知市食生活改善推進協議会
生産者の立場から	岡部 達雄	日高農場
家禽の衛生管理指導の立場から	橋本 親廣	高知県畜産課

■テーマ(4)障害者の生活支援

〔第2会場：高知城ホール2F会議室せんだん〕

気づかないうちに、いつの間にか行政主導、専門家主導の活動や、要望だけに対応するサービスになってしまっているのが現状です。地域の人々も含めて障害者の「自立」を考え合う場づくりや、共に生きること、共に生活するための、支援ができるサービス、制度、マンパワーの資質向上など本音で検討する場がほとんどありません。生活支援をきちんとする、その関わりからネットワークや組織化を図るプロセスで学んだことを啓発する、施策化する、などの視点や住民や障害者当事者の参画した地域づくり支援について議論ができればと思います。

コーディネーター： 山崎 正雄（精神保健福祉センター所長）
国藤 美紀子（安芸市福祉事務所）

W4-01. Doネットワーク	牧野 秀男	Doネットワーク
W4-02. 高知市障害者福祉センターの取り組み	竹村 利道	高知市障害者福祉センター
W4-03. 「ヤング・ハートフル茂平」からはじまった日高村のチャレンジ	山下 かのう	日高村障害者地域生活支援センター
W4-04. 幡多地域のネットワーク ～ネットワーク会議からのつながり・ひろがり～	増田 有弘	幡多保健所
W4-05. 知的障害者の生活支援	佐々木 和秀	高知市知的障害者地域生活支援センター「さん」

■全体会（ワークショップまとめ）

〔第1会場：高知城ホール4F多目的ホール〕

進行： 小松 洋文（高幡保健所所長）
助言者： 吉永 智子（高知市保健所）
佐谷 けい子（中野区社会福祉協議会）